

「エンリッチ・プリマリセミナー」

1. 概要

このセミナーは、離婚大国アメリカで考案されました。

1968～1976年に、デビット・オールソン博士らによって作成された家族療法のための資料を基にして、1977年に開発されたプログラムです。アメリカでは、このプログラムの、製造販売もとの、Life Innovation は、Family Ministry の大会の主催者の一人のようで、ミニストリーとしての側面も強くもっています。

2. 内容

(1) 目的

- ① お互いの理解を深めるための教育
- ② 自分たちの弱み・強みの理解
- ③ 自分たちの目指すところの理解
- ④ コミュニケーションスキルの養成
- ⑤ 深刻な対立や離婚の予防

⇒互いが自分の課題として取り組むべきこと・互いに受け入れ合い歩み寄ることを自覚し、源家族からの影響があることを互いに認識し合い、自分たちで新しい家庭形成を目指すことを啓発・支援すること。

(2) 目標

- ① 二人の関係における課題と強みの認識
- ② 役立つコミュニケーションスキルの習得
- ③ 「10ステップ」または「話し合いのガイド」を用いて問題解決の術を学ぶ
- ④ ファミリーマップを用いて、二人の生まれ育った家庭や現在への影響を知る
- ⑤ 予算や金銭的プランを立てる
- ⑥ 個人として、夫婦として、家族としてのゴールの設定

(3) 手順

まず二人の現状を把握し、それをもとにカウセリングを行う。

現状把握のためには、Life Innovation の許可を得た機関に郵送して行う診断と、インターネットを用いて設問に答えるカップルチェックアップの

二種類の方法がある。

A. 診断を利用する場合

- ①二人が其々125設問に回答する。
- ②13項目にわたって診断結果が出る。(郵送によるやりとりのため、1～2週間かかる)。

結婚における期待と満足度、性格行動の傾向、コミュニケーション、葛藤の解決、家庭の経営管理、家族適応性、家族凝集性、性的関係、子ども&子育て、家族友人関係、性役割の平等性、家族の協力、余暇の過ごし方

*日本では、「プリペアーエンリッチ分析係」が診断を請け負っている。

連絡先：〒104-0041 中央区新富1-6-8 山田ビル2F

TEL:03-3552-7012 mssl@circus.ocn.ne.jp

セミナー参加のカウンセラー認定者を通すと、一回7,350円。

- ③診断結果をもとに、カウンセラーが二人の強み・問題・課題を分析解釈する。
- ④それをもとに、フィードバック(カウンセリング)の時を持つ。1～3回。

B. カップルチェックアップを利用する場合

- ①以下のホームページから。

<http://rinshobokukai.main.jp/couplecheckup.html>

- ②二人が其々125設問に回答する。

費用は二人で3990円。

- ③四つの領域について分析結果が返信される。

a. 鍵となる二人の領域

コミュニケーション、対立の解決、家庭の経営管理、愛情&性的な期待、宗教的信念、家族&友人

b. 特別な領域

結婚(交際)における期待、結婚(交際)における課題、習慣&好み

c. お互いの家族背景

カップルの親密性と柔軟性、家族の親密性と柔軟性

d. 性格チェック(SCOPE)

S(社交性)、C(適応性)、O(几帳面さ)、P(協調性)、E(情緒の安定性)

- ④「話し合いのためのガイド」をダウンロードし、それをもとに、二人で話し合いの時を持つ。

- ⑤分析結果をもとに、カウンセラーが二人の強み・問題・課題を分析解釈し、フィードバック(カウンセリング)の時を持つ。

3. 考察

(1) 活用にあたっての利点

- ① 手軽な「道具」として用いることができる。2日間の講習受講でカウンセラーに認定される。
- ② 夫婦であるならば、まず自分たちの課題や問題に取り組むことになる。夫婦関係を見直したいと思っている時、伴侶にもその意識をもってもらうためのよいチャンスになるのではないか。
- ③ 牧会者たちによる「臨床牧会研究会」というサポートチームがある。
※臨床牧会研究会：有田モト子氏をスーパーバイザーとする有志の牧会事例研究グループ。カウンセリングのケーススタディと、プリペアーのカウンセラー養成セミナー、テキストの翻訳を行っている。

(2) 活用にあたっての課題・問題点

- ① 質問内容の中に、日本人クリスチャンには馴染まないものがある。設問の前提にそぐわない場合は、答えにくい。
- ② エンリッチでは源家族のことがわからないので、工夫が必要。日本用にアレンジしたらいいと思うが、アメリカの許可が得られるか、また日本版診断システムを作成できるかという課題がある。
- ③ カップルチェックアップの場合、二人の回答結果の一覧がない。このため、どちらをフォローしたらよいか判断しにくい面がある。
- ④ 資格は取得しやすいが、実際の分析解釈に訓練が必要と思われる。
- ⑤ カウンセラーが牧会者の場合、カウンセリングなのか、牧会指導の内容(特に罪の問題)なのか、という葛藤を生じる場合もあるのではないか。

4. 実践事例

- (1) 教会内で結婚カウンセリングに使用
コミュニケーションの演習が効果的だった。
- (2) 伝道用ちらしとホームページで結婚カウンセリングしていることを紹介
ホームページを見て、カウンセリングを受けにきたカップルがいた。女性がミッションスクール出身で、男性は教会に来ること自体初めてだった。ハワイで挙式予定だったので、誓約の説明を行う中で神様の存在を伝えることができた。継続して集会案内している。

5. セミナー情報

(1) 連絡先

主催：臨床牧会研究会 Marriage Counseling 部門
事務局 西岡まり子師(042-395-7902)
nmariko7@hotmail.com

HP: <http://rinshobokukai.main.jp/prepareenrich.html>

協催：プリペアーエンリッチ分析係(03-3552-7012)
mssl@circus.ocn.ne.jp

HP: <http://www.matori.co.jp>

(2) 開催時期・場所・費用

時期：事務局に問い合わせる

所要時間は、10:00~17:00 の二日間の講義とロールプレイ

場所：事務局に問い合わせる

費用：事務局に問い合わせる

(2009年は、テキスト代・登録料4,000円、診断体験実費7,350円、セミナー参加費10,000円)